

海外安全対策情報（香港・マカオ）

1 2016年1月～3月の間に邦人が巻き込まれた犯罪

2016年1月～3月の間の在香港日本国総領事館管轄域内における日本人の犯罪被害件数は、12件でした（当館把握分）。被害内容は、窃盗による被害が主なもので、特に、人が集まるところで、財布を抜き取られるといった事案が多発しております。外出時は、自分の所持品と周囲の動きに注意を払って行動してください。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

日本人の被害は報告されていません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は報告されていませんが、2月8日深夜、モンコックにて、香港当局職員が違法な路上屋台の撤去を求めたところ、屋台経営者がこれを拒否し、その後、デモ隊と警官隊による数百名規模の衝突が発生しました。当該事案により、一部逮捕者も出ていると報じられる中、当局の対応に対する不満等から、今後も同様の不測の事態が再発する可能性は排除されませんので、引き続き注意が必要です。

4 対日感情

一般的には良好ですが、先の大戦に関連して我が国に対する要求を行う団体、尖閣諸島に関して中国の領有権を主張する団体等による抗議活動は、依然として継続されており、引き続き注意が必要です。

5 日本企業の安全に関する諸問題

特段の問題は報告されていません。

6 治安情勢

香港・マカオ、両地域の最新の政府発表による犯罪発生件数を前年同時期等と比較したところ、香港及びマカオともほぼ横ばいの傾向が続いており、治安情勢は比較的安定していると言えます。

(1) 香港警察発表による2015年の犯罪発生件数

2015年の犯罪発生件数は、66,439件で、前年より1,301件少なくなっています（約1.9%減少）。この中で、恐喝（1,366件、約54.4%増加）、強姦（70件、約25%増加）、及び、詐欺（9,353件、約5.6%増加）については増加の傾向が顕著であり、特に注意が必要です。

(2) マカオ保安司発表による2015年の犯罪発生件数

2015年の犯罪発生件数は、13,653件で、前年より363件少なくなっています（約2.6%減少）。この中で、不法監禁（410件、約86.4%

増加)、及び、高利貸し(354件、約48.1%増加)については増加の傾向が顕著であり、特に注意が必要です。

(3) その他

ア 香港へのスタンガンの持込みに関する注意喚起

香港においては、スタンガンは「武器」として取り扱われているところ、その所持は法律で禁止されており、違反者は最大10万香港ドルの罰金と禁固14年の刑に処せられる可能性があります。最近、香港への旅行者、あるいは、香港でトランジットする旅行者が、香港国際空港で逮捕されるケースが増えていることから、特に注意が必要です。

イ 就労ビザ等のビザ取得に関する注意喚起

香港では、就労ビザを取得せずに入境し、「就労」と見なされる活動を行った場合は、報酬の有無に関わらず「入境条例」違反となり、逮捕等に処されるおそれがあります。また、入境者に「就労」と見なされる活動を依頼する側も同じく「入境条例」違反となります。つきましては、香港において様々な活動を行う場合、あるいはそのような活動を依頼する場合には、「入境条例」違反とならないようくれぐれもご注意ください。